

観て

聴いて

歌舞伎俳優

体験する

中村いてうさんに学ぶ

歌舞伎 ワークショップ

VOL.
2



歌舞伎は日本が誇る芸術文化です。舞台上で繰り広げられる絢爛豪華な演舞は、初見でも十分に楽しめますが、知識を持って見ると、その奥深さがより分かるでしょう。

歌舞伎を身近に感じていただくために、中村屋一門で研鑽を積んできた中村いてうさんによる歌舞伎ワークショップを開催します。歌舞伎の七五調の台詞術、見得や立ち回りなど、いてうさんに実演をしていただきながら、皆様にも体験していただく講座です。

いてうさんと共に歌舞伎の解説を担当するのは、三重大学准教授の田中綾乃さんです。歌舞伎通はもちろん、これまで歌舞伎に縁のなかった若い方やお子様でも楽しめる企画です。ぜひご参加ください。

中村いてう (なかむら・いちろう)

1981年岐阜県恵那市生まれ。屋号は中村屋。祖父は地歌舞伎の振付師として名高い松本団舟。叔母は振付師の二代目松本団女。両親も地歌舞伎に携わるという家庭で育つ。2000年、国立劇場第15期歌舞伎俳優研修を修了。翌年、五代目中村勘九郎(十八代目中村勘三郎)に入門。同年、歌舞伎座「頼朝の死」の町人ほかで、中村いてうを名乗る。2015年、平成中村座「魚屋宗五郎」の小奴三吉ほかで名題昇進。2021年のNHKドラマ「中村仲蔵」では、助左役で出演しながら、出演者の歌舞伎指導や立師として活躍。2020年、出身地の恵那市観光大使に就任。2022年は中村屋の門弟で「鶴の子会」を立ち上げ、岐阜の芝居小屋で公演を行い、歌舞伎文化の活性化に貢献している。

田中綾乃 (たなか・あやの)

名古屋生まれ。三重大学人文学部准教授。演劇評論家。カントを中心とする哲学研究を行う一方、長年の観劇歴から演劇批評にも携わる。歌舞伎公演パンフレットの演目解説や新聞評、雑誌などでの劇評執筆多数。

期日 2024年 4月25日(木)
18:00~19:30

会場 栄中日文化センター(中日ビル)

受講料 一般 3,520円
25歳以下 2,310円
中学生以下 1,760円 (税込)

お申し込み

下記「中日文化センター栄」までお電話ください。受講料は店頭またはコンビニエンスストアからの振り込み(申込時案内)をお願いします。右記QRコードからの受付、入金も可能です。(クレジット決済)



詳細は下記フリーダイヤルまでお問い合わせ下さい。

※受講料には維持管理費が含まれています。 ※一部講座の受講料には音楽著作権使用料が含まれています。
※講座により募集締切日が異なりますので、お問い合わせ下さい。
※お申し込みの人数によっては開講中止となる場合がございます。予めご了承下さい。

登録料
不要